

東京都千代田区九段北 3-1-1
電話 03-3261-8326 (代表)
FAX 03-3261-8320 (直通)

戦没者墓苑
拝礼

佳子内親王殿下が御臨席
新たに193柱の遺骨を納骨

厚生労働省主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式が5月25日、秋篠宮家次女・佳子内親王殿下の御臨席を仰ぎ挙行された。式典では、政府の遺骨収集事業により硫黄島、旧ソ連、マーシャル諸島等で収容した戦没者の遺骨のうち、遺族に引き渡すことができない193柱が同墓苑に納骨された。式典には、約430人が参列し戦没者の冥福を祈った。

式典は、午後零時28分、国歌斉唱の後、上野賢一大臣は式辞で「二柱で一生懸命に戦った戦没者の御冥福を祈ります。多く、一日も早くふるさとにお戻りできるように、御帰国に努めます」と述べた。

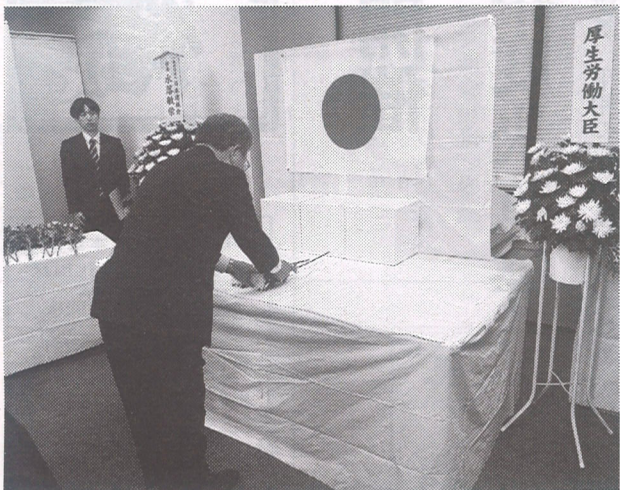


上野賢一 厚生労働大臣の手により遺骨が納められた
= 5月25日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

マリアナ諸島遺骨拝礼

鑑定待つ遺骨を緊急奉還

5月26日、厚生省内に生じ、北マリアナ諸島において令和8年度マリアナ諸島戦没者遺骨収集派遺遺骨拝礼式関係団体代表による拝礼式が執り行われ、本会を代表して水落敏栄会長が参列し献花した。



マリアナ諸島遺骨拝礼で献花する水落会長
= 5月26日、厚生労働省社会・援護局で

島で収骨し、日本でのDNA鑑定等の結果を待つ遺骨をサイパン島のHP O歴史保存局に保管していたが、この台風の影響でその保管施設が浸水する被害を受け、現地関係者により遺骨を安全な場所に移転させるなど緊急措置がとられた。

全力を尽くすと挨拶。戦後80年が経過し、大戦の教訓と記憶を風化させることなく、継承していくことが喫緊の課題」と述べた。

下の御拝礼に合わせ参列者一同も拝礼し、殿下御退場後、皇宮警察音楽隊による奉楽が奏でられる中、高市早苗内閣総理大臣が献花を行った。続いて水落敏栄本会長、参列支部遺族会代表8人が献花した後、インド、インドネシア、ミクロネシア等関係国駐日大使、森英介衆議院議長、関口昌一参議院議長、大串正樹衆議院厚生労働委員長、小川克巳参議院厚生労働委員長、茂木敏充外務大臣、石原宏高環境大臣、小泉進次郎防衛大臣、各政党代表、各関係団体代表、最後に上野大臣が献花した。

式典終了後には、全国の遺族代表、令和7年度遺骨収集事業参加者等、多くの参列者が拝礼を行うため、六角堂の献花台に向い長い列をなし、戦没者の冥福を祈った。

式典終了後は、殿下御退場になる佳子内親王殿下が参列者一同も拝礼し、殿下御退場後、皇宮警察音楽隊による奉楽が奏でられる中、高市早苗内閣総理大臣が献花を行った。続いて水落敏栄本会長、参列支部遺族会代表8人が献花した後、インド、インドネシア、ミクロネシア等関係国駐日大使、森英介衆議院議長、関口昌一参議院議長、大串正樹衆議院厚生労働委員長、小川克巳参議院厚生労働委員長、茂木敏充外務大臣、石原宏高環境大臣、小泉進次郎防衛大臣、各政党代表、各関係団体代表、最後に上野大臣が献花した。

伊澤審議官へ緊急要請文を手交する水落会長
= 5月26日、厚生労働省社会・援護局で

伊澤審議官へ緊急要請文を手交する水落会長
= 5月26日、厚生労働省社会・援護局で

伊澤審議官へ緊急要請文を手交する水落会長
= 5月26日、厚生労働省社会・援護局で

伊澤審議官へ緊急要請文を手交する水落会長
= 5月26日、厚生労働省社会・援護局で

令和8年度 日本戦没者遺骨収集推進協会主催 現地調査・遺骨収集実施表			
<海外 現地調査・遺骨収集>			
派遣名	実施地域	実施期間	本会参加人数
パラオ諸島現地調査 第1次 前半	ベリリュウ島	4月29日～5月14日	1人
パラオ諸島現地調査 第1次 後半	ベリリュウ島	5月13日～5月28日	2人
東部ニューギニア 現地調査・遺骨収集 第1次	フィンシュハーフェン	5月9日～5月29日	1人
インド現地調査 第1次	コヒマ	5月10日～5月23日	1人
ミクロネシア現地調査	ポンペイ島、コスラエ島	5月12日～5月23日	1人
マリアナ諸島現地調査 第1次	テニアン島	4月19日～5月2日	中止
ビスマーク諸島現地調査 第1次	ブーゲンビル島	6月1日～6月21日	中止

大阪市の中学校で語り部講話

体験者と次世代が共に取組

令和7年度の全国における学校等（児童クラブ・公民館等）での児童・生徒向け企画を含む）での実施回数は808回を数え、令和6年度比4倍増となった。主な要因の一つとして、体験者と次世代が児童生徒と共に考える多世代間の学びが挙げられている。体験者と次世代が共に記憶の継承に取組んだ大阪市内の中学校での語り部を紹介したい。

5月15日、大阪市立平野北中学校3年生全クラスと保護者に語り部講話を実施した。

依頼には長崎への修学旅行に向けて、大阪空襲、特攻、長崎原爆投下、最近の世界の紛争と4つのテーマで探究学習をしており、テーマに沿った対話型希望とされていた。事務局の高齢化により



戦艦大和の乗務員だった父について語る吉村さん=5月15日、平野北中学校体育館で

8年度は本部調整となつた大阪府の初の講話は、頼に鑑み、大阪府内の講話者に加え、先進県である兵庫県遺族会へ協力を求めた。兵庫県は永続的な事業実施を目指し、体験者と次世代が共に講話に取組んでいる。その中心である北浦基広会長、荒堀修一青年部長（本会ブロックアドバイザー、共に戦没者の孫）の派遣とし、当日は3グループに分かれ講話となった。

話者に加え、先進県である兵庫県遺族会へ協力を求めた。兵庫県は永続的な事業実施を目指し、体験者と次世代が共に講話に取組んでいる。その中心である北浦基広会長、荒堀修一青年部長（本会ブロックアドバイザー、共に戦没者の孫）の派遣とし、当日は3グループに分かれ講話となった。

また、戦艦大和の乗務員だった父との面会に仕事で行けなかった母が99歳で亡くなるまで悔やみ続けていたと話し、「災害は防ぐことが出来る」「一人一人が戦争をしな」と伝えた。



松原市での戦中戦後の暮らしについて語る津村会長=5月15日、平野北中学校多目的室で



講話を終え生徒より感謝の言葉を受ける北浦会長と荒堀青年部長=5月15日、平野北中学校格技室で

ている松原市遺族会津村正義会長は、自身の戦争体験や戦後の進駐軍の思い出、食糧事情、社会情勢を語った。

北浦会長は長崎原爆投下について豊富な映像、写真を用いて原爆投下から復興にむけた市民の平和への強い思いを伝えた。そして荒堀青年部長は

兵庫県加西市の平和学習資料を用いた子供たちの戦時中の暮らし、加西市鶴野飛行場から飛び立った特攻隊員の遺書を伝えた。生徒の感想「抜粋」は次の通り。

『今まで戦争に行つた人（今）と考えるのは絶対に嫌だと思った。戦争が起らないように何をすればいいか考えようと思った。祖父を戦争で亡くされた語り部さんの言葉の重みを感じた。平和が一番。絶対継承していきます。語り部さんのような団体がなければ将来日本も戦争をするかもしれないと怖くなった』

当日は毎日新聞社の取材があり翌日掲載され反響を得た。今日も全国で講話が実施されている。

定期講話会のお知らせ

戦争体験者の遺族と次世代が共に記憶の伝承に取組む本部主催の定期講話会。7、8月は家族で考える戦争と平和と題して次世代の講話を予定している。

昭和100年企画 各地で広報、研修を実施

1面に続き、全国で開催された昭和100年記念イベントを紹介したい。

○茨城県4月8日、19日、県遺族会事務所、議室、護国神社において、戦没者の遺書「英霊の言葉」朗読会を実施。

○長野県4月15日、長野市伊勢社で体験者による自分史朗読を実施。

○富山県4月18日、県護国神社清掃活動後、戦没者の母の手記、戦地からの手紙の朗読を実施。今夏別企画も開催予定。

○愛知県4月22日、県護国神社のはじまりとなつ

た慰霊碑を継承部（次世代）が説明後、女性部と清掃活動を実施。

○三重県4月22日、県遺族会館で8年度語り部大会（研修会）を実施。女性部による自分史発表と帰還した父親を持つ、次世代による語り部を実施。

○山形県4月24日、鶴岡市市役所にて県遺族会制作平和の語り部DVD視聴と11月の沖縄慰霊の際に奉納する千羽鶴制作を実施。

○福島県4月8日、学校講話予定者の県下各地域

12名による実演研修を開催。あわせて講話に活用するために制作した動画を視聴。6月9日にも開催した。

○岡山県5月5日、県護国神社内いさお会館で定

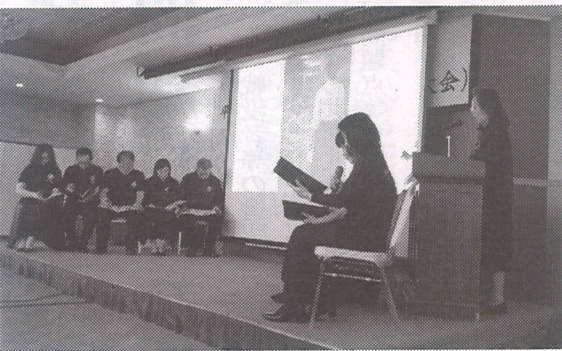
期講話会を開催。戦艦大和の乗組員の叔父を亡くした竹内正弘さんと従軍看護婦の母を日中戦争で亡くした諏訪妙子さん（遺児）の講話を実施。広報と新たな語り部の発

掘のため、年度中4回の開催を予定。新聞で報道された。

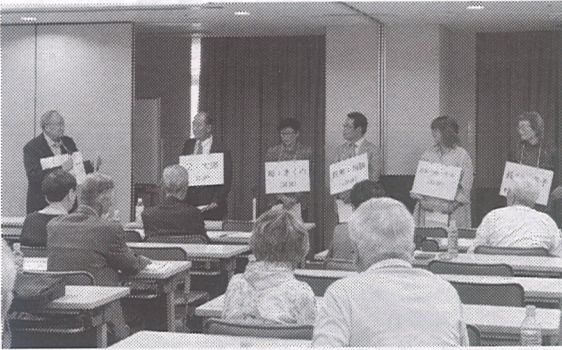
○香川県5月5日、県護国神社で春季例大祭にあ

わせ体験者、次世代による朗読劇を上演。

○高知県5月10日、高知会館で遺族大会に合わせ朗読劇を上演。生後6か月だった大石綾子会長を連れ旧満州から引き揚げた母の手記をもとに中岡美佳青年部副部長が制作し青年部で上演。新聞、テレビ等で報道された。



大石会長の体験を青年部で朗読劇を創作し上演=5月10日、高知会館で



体験者の講話、体験者、次世代の朗読劇を上演=5月13日、まちづくり広島市民交流プラザで

○広島県5月13日、市まちづくり市民交流プラザで学校講話の実践研修を開催。講話を重ねる遺児3人の実演。戦中戦後の体験と地域の歴史、遺児慰霊友好親善事業の体験、被爆した父の戦死と戦後の苦労が披露された。あわせて体験者次世代による朗読劇を上演。

8月に向け実施される様子を引き続き紹介する。

ミヤンマー小学校 修繕募金のお礼

日本遺族会がミヤンマーの現地に寄贈した小学校3校の老朽化が進んでいることから、その修繕費用を集めるために開設した「ミヤンマー小学校修繕募金」にご賛同いただいた左記の方々にご心よりお礼申し上げます。

賛同者名（敬称略）

志村定男、高橋洋子、有田久恵、深井征司、林

洋子、山元孝子（郵便振

替3月1日～5月27日現在）

康雄、上田護、濱田義則、

本山邦良、濱田正信、田

中敏弘、音泉敏子、浜崎

和則、原田伸次、上原か

づみ、土本初代、菊地利

邦、高山宏、松本登志子、

前田多喜、小山英機、村

上マツ子、夏川嘉一郎、

江崎常美、瀬戸茂子、中

本喜好、石崎弘子、奥出

洋子、山元孝子（郵便振

替3月1日～5月27日現在）

勳嘉代子、福原清美、土

本初代、山本泰生、吉田

隆治、奥田文子、上村亘

子、能美松江、貝嶋武典、岡部博明、野津敏子、野津信、志村定男、赤澤壽子、田村一郎、上岡芳子、森本浩吉、中村千子、宮城地区遺族会、ピタットハウス稲田堤店、ヨシオ

カタツオ、オカモトキミコ（以上、5月1日から5月27日現在）

皆様からいただいた賛助金は、本会が実施している英霊顕彰、戦没者遺族の処遇改善、戦没者遺骨収集事業等のさまざまな遺族会活動に利用させていただきます。

日本遺族会への 賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。なお、賛同者の都道府県名は、送金方法により

居住地が特定できない場合があり、省略します。

賛同者名（敬称略）

上浦喜代志、鈴木正行、宮地邦彦、田中敏弘、赤

石美美江、星沢豊子、有

今後の問題点を協議

る活動を領事事務所のホームページ、インスタグラム等で発信して、多くのアメリカ人に周知していると述べた。

で、引き取り手のない遺留品（遺族が受領を辞退されたもの、特定が不可能なもの）は早期に日本へ送還し、本会で適切に保管することを提案した。

愛しきものへ

山梨県 土屋 喜雄

各支部遺族会で実施された大会等は次の通り。

▼長崎県 4月23日

令和8年度長崎県連合遺族会女性部平和の語り部研修会（15人）

銀行名：三菱UFJ銀行 神保町支店
普通預金：1616825
口座名：一般財団法人日本遺族会
 ザイ)ニホンイゾクカイ

令和8年度「昭和100
年企画」平和の語り部事
業研修会（33人）

地方だより